

月刊 **みんな ねっと** 5 2018

●特集●

子どもの立場からみえること（横山恵子）

●新連載 語りあおう、つながろう、町の中で、日常の中で
～オープンダイアログに学ぶ日々のなかで気づいたこと～第2回（三ツ井直子）

■続・事例からみる精神障害者の障害年金の実際（白石美佐子）「等級目安表と異なる結果が届いた場合」

■知ることは生きること（青木聖久）連載 29回 《自らの人生の主人公としての家族の暮らし特集⑧》
社会での感動を描（書）き、他者と対話することは存命の喜び



公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会

読者のページ



「みんなのわ」は、読者のみなさんからののお便りや投稿を中心に紹介するコーナーです。

「みんなねっと」の感想

◆茨城県 大高律子 家族(60代)

「みんなねっと」の感想

2月号の「みんなねっと」の感想ページの愛知県佐野久司さん家族の投稿を拝読致しました。

私は、10月号「みんなねっと」の記事より、渡部和成先生著「統合失調症に悩まないで、家族がみつけた幸せへの道」をただ感動で読ませて頂きました。

早速、H29年11月に茨城県よ

日常生活

り長岡の田宮病院へ「家族心理教育」を受けにまいりました。田宮病院の教室では、先生、ソーシャルワーカー、相談員、作業療法士、介護士、看護師と多くのスタッフが笑顔と優しさで迎えて下さり、長旅の疲れも癒されました。無料での教育研修に驚き、患者と家族が「家族心理教育」を田宮病院(渡部医師)の様に、全国へ教育が受けられるように、そして「家族心理教育」を医療行為と認めていただきたい。この投稿をきっかけに、一人でも多くの方にお伝えしたいと心より思っております。